

# 都民の声「重く受けとめる」(都教委) すぐにでも三十人学級に踏み出せ!



発行所  
 東京都千代田区二番町12-1  
 エデュカス東京(全国教育文化会館)  
 東京都教職員組合  
 電話(3230)3891  
 編集発行人  
 山崎 忠彦  
 1部15円(郵送料別)  
 組合員の購読料は組合費に含む

ホームページ  
<http://www.tokyousou.jp/>  
 E-mail:tokyoso@zenkyo.org

### 教育研究 全国集会2009

## みんなで21世紀の未来をひらく 教育のつどい 東京開催が決定

今年の「教育のつどい2009」が東京で開催されることになりました。開催日程は、8月21日・23日の3日間です。詳細は、次号に掲載します。

## 多くの都民の願い、 三十人学級

「四十人の二クラス。先生は一生懸命やってくたさるけれど、やはり限界が。一刻も早く一人ひとりの子どもについていかに向き合えるようになってほしい」新宿西口で署名してくれたお母さんの言葉です。

昨年六月から始まった三十人学級を実現するとりくみは、全都の各地で連絡会を結成し、組織の枠組みを超え、二十四万を超える署名に結びつき、一刻も早く三十人学級を実現してほしいという都民の思いが示されました。

## 質問もせずに反対、 自民党・公明党

五月二十七日、請願審議のための都議会文教委員会が開かれました。四十席の傍聴席は、請願の行方を見守る「連絡会」や退職教職員、市民のみなさんでいっぱいになりました。

質問に立った日本共産党都議は、「息子の友だちはおとなしい性格で、算数が大好きだったのだけれども、三十九人の学級になったから、手を挙げても指してもらえなくなってしまう」と言っているんです。という都民の切実な声を紹介しました。



30学級実現の都民集会

自民党・公明

党は質問・討論もせずに請願に反対しました。

## 採決では請願に賛成 せず、民主党

また、民主党は、三十人学級だと「三十一人の場合は十五人と十六人ということになり、これはソフトボールもできなくなってしまう」「学級編成基準を何人にすべきか」というのは、どうしても不毛というか、ためにする議論の

## 「都民の声、重く受けとめる」と都教委

文教委の質疑の中で、日本共産党都議の「二十四万を超える都民の声をどう受けとめるのか」「多摩の市長会や教育長会からの少人数学級についての要望をどう受けとめるのか」

## 子どもを救うために 私たちができること

六月五日、エデュカス東京で子どもを貧困と格差から救う緊急会議が開かれ、様々な分野から九十名が参加しました。

あいつに立った児玉都教組委員長は、家庭の中の安心が脅かされている子どもを救う国民運動を起そうと訴えました。

◆岸田久恵さん (都教組執行委員)

支部から報告された貧困の実態、高校の二次募集枠拡大の要請を行ったこと、重い教育費負担は、わが子の中学・高校での負担でもわかる、進

◆村木栄一さん (中学校事務職員)

映画「草の実」や全教の緊急ホットラインで感じた子どもの現実を声を上げたいと報告。「板橋区では『就学

ようになつてしまつた」などと述べ、「保留にすべき」と発言し、採決では請願に賛成しませんでした。

結局、請願に賛成したのは日本共産党だけでした。「東京の学校で三十人学級

(少人数学級)を実施することに関する請願」はこうして賛成少数で文教委員会では不採択となり、六月五日の本会議で自民・公明両党の賛成で、この不採択が確認されました。

## 三十人学級の実現は、 都政を変えてこそ

石原都知事は、一メートル一億円の高速道路などオリンピックを口実にした大型開発、土壌汚染の激しい豊洲への築地市場の移転問題、千四百億円もの血税をつぎ込んだうえに破綻寸前に陥っている新銀行



子どもを貧困と格差から救う緊急会議

◆増田啓介さん (私教連書記長)

学費滞納調査から見えてくるのは家庭の経済状況の変化。滞納者は確実に増えている。大学が決まっているのに高校の授業料が払えない、アルバイトをしながら家計を助ける子、擦り切れた制服の子、公私格差が大きく、私費負担が重くのしかかっている。学

最後に提言(二面に掲載)

に何が出来るかという具体的な行動を提起しました。参加者は、この緊急会議から運動を大きくすすめていく決意を共有しました。(山忠)

## 再読

「ロホコップ」という映画をご記憶でしょうか。妻子を殺され、自らも命を奪われたはずのマaffiー刑事がサイボーグとしてよみがえって、巨悪とたたかう設定です。彼の勤める市では、金(大企業)と権力(政治)が結びつき、大企業が市政を牛耳り、市警察も資本の言いなりです。その結果、悪がはびこり正義が通らず、市民生活の無権利状態が広がりました。しかし、観ながら荒唐無稽だと感じた設定も笑ってばかりはいられませぬ▼憲法を改悪して、「海賊新法」などで自衛隊を海外展開し武器使用も可とするような動きも、多国籍企業化で海外展開している企業の社員や工場を自衛隊に守らせたいという大企業の思惑が働いていませぬ。教育も同じです。今の学習指導要領の元をつくった教育課程審議会の三浦朱門元会長は「でんき者はでんきままに結構」と言いました。グローバル化で海外の安い労働力を求める企業にとって、日本のすべての子どもの発達のために高いお金をかける必要はないと考えたのでしよう。これが子どもたちからわかる喜びを奪いました▼こうした企業論理がすぐに政策となって国民(子ども)に襲いかかるのが、今の日本の財界と政界の結びつきを物語っています。ロホコップはいまありません。私たちが正義を貫き、悪を絶たねばなりません。都議選と総選挙が子どもと教育を守る契機となります。(山忠)